

日蘇通信社編

218  
朝  
本

特246  
551



強化

25

世界戦時態勢パンフレット第一輯



0056357-000

特246-551

世界戦とソ聯国防体制の強化

日蘇通信社・編

日蘇通信社

昭和15

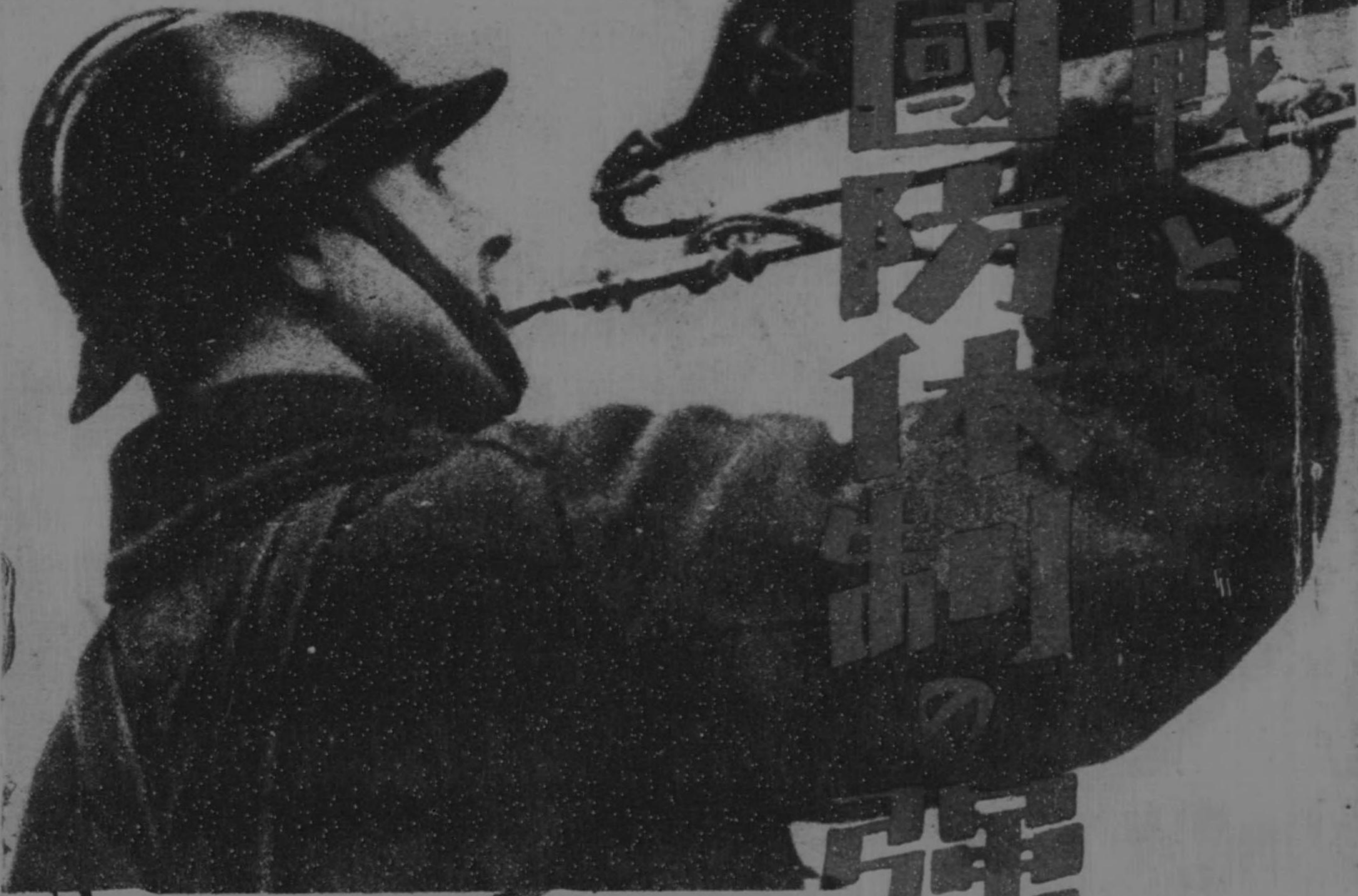
AJC

日蘇通信社編

納本 213

特246

551



# 世界戦 国防体制 の強化

25美

★世界戦時態勢パフント第一輯

特246  
551



日蘇通信社編

世界戦とソ聯國防體制の強化

世界戦時態勢パンフレット第一輯



漏すな軍機  
逃すなスパイ

明治製糖株式会社

# 世界戦とソ聯國防體制の強化

## 國防體制の基礎「労働と國防」

ソ聯が國防體制の強化を最も具體的に分り易く現してゐるのはゲ・テ・オである。このゲ・テ・オと云ふのは最近數年來行はれたものだが人民委員會議の附屬機關で、體育競技委員會と云ふかそれが管轄してやつてゐる體位向上を目指す體育競技運動である。ゲ・テ・オと云ふのはその標語で「労働と國防に用意あり」と云ふことである。そして巾跳とか、或はマラソン競走とかで豫定の標準を取つたものにそのゲ・テ・オ章をやつてゐる。體育と云ふものを「労働と國防に用意あり」としたところにソ聯の國防體制の一面がはつきり現れてゐると思ふ。そし

て労働と國防と云ふのを何時でも離さずに置く。

これは今に始つたことではない。ソ聯が國防國家體制を作らうとしたのは一九一七年の十月革命をやつたその翌日からである。革命後直ぐにレーニンの書いたものに「ソヴェト政權の基本任務」と云ふ本があるが、それを検討して見ると、労働階級が天下を取つたその翌日から實行せねばならぬことは生産能率の飛躍的増進である。そして生産力の大擴充を行つて、今までの制度とはまるで違つたものを生まなければならぬ。それが即ち社會主義だと言つてゐる。その當時さう云ふことが海外にも宣傳されてゐたが、社會主義の建設とか、赤衛軍と白衛軍の衝突とかさう云ふことの聲が餘り大きかつたためにそれに消されて、國防國家體制の建設と云ふことは當時我

我には餘り分らなかつた。今にして考へるとそれがソ聯國防體制の基礎である。一九一八年の十一月三十日に労働國防會議——と云ふ機關をレーニンが作つた。これがその後ストオと改組されたがそれは労働國防會議と言ふもので、労働と國防とをちやんと並べてゐる。これがソ聯國防國家體制の基本機關である。

それはどう云ふ爲に作つたかと云ふと、反革命勢力とか、外國の出兵に對抗して勝つ爲に、國家の人的な力、物的な力、國家の總力を糾合組織してこれに當る。それが労働國防會議で、その發達し、改組されたのが一九二〇年十二月に組織された労働國防會議（ストオ）で、これは非常な權力を有し、レーニンが初代の労働國防會議々長になつた。これが基本となつてその時よりもつと基礎方針を擴大して、國民經濟の、一切の國家の力の經濟的及び財政的計畫を實行する機關が段々整備され、ほかの經濟機關が作つた種々の計畫などを訂正すると云ふやうな機關も出來て、ソ聯の産業國防の計畫的な遂行を

行ふようになった。戰時共產主義時代の頃は諸外國の出



ソ聯體育之特色の進行

兵とか反革命派を驅逐するとか云ふ目的で作つた國防體

制で、ソヴェト政權をとにかく確保確立するためのものであつたが、それが段々進んで来て、今度は全部外國に對する國防國家體制に發展したのが今日のソ聯である。

ソ聯の國防體制強化は此處から出發してゐる。だから國防國家體制を作らうと云ふ基本觀念は淵源するところは非常に遠いが、今日謂ふところの國防國家體制の建設に本當に着手したのは五ヶ年計畫を始めた當時、即ち一九二八年から今年第三次五ヶ年計畫の第三年目になる。

### 國防體制強化を何故始めたか

要するに今までは共產主義建設とか、共產主義社會を作るとか云ふ言葉が餘りに強く宣傳されてゐたものだから、ソ聯の國防體制確立と云ふことが比較的等閑視されてゐた。處が豈圖らんや革命の翌日からソ聯は國防國家を作らうとしてゐたのである。

然し考へて見ると無理もない點がある。革命の前の世

と云ふことをも非常に眼目に入れて居つた。

ドイツのナチス政權が一九三三年一月に天下を取つて再軍備に突進してから、ソ聯は本當の國防國家建設に取り掛つたのであるが、總ての産業も戦争遂行のために一番都合の好いやうに編成すると云ふやうなことに努力した。然し國防國家を作るのに經濟的な土臺を作ると言つてもソ聯に於ては他の國のやうな、例へば英國が戦争が始つてから戦時經濟新體制を作つたと云ふやうなのは、大分趣が違つてゐる。ソ聯に於ては總ての平和産業、輕工業、民需産業と云ふものを國防工業に振向け、編成し替ると云ふやうなことは餘りなかつた。大體、これまで計畫經濟でやつてゐたのだから、急に火事が起つたからと言ふので、他の國に見られるやうに國民經濟を國防經濟に立直すと云ふやうな判然たる境はなく、ソ聯に於ては金融機關でも、礦物資源でも、輸送手段でも總て國家が握つてゐるから自分の手にあるものを色々按配し直すだけに過ぎないから此の點は他の國より餘程容易

界大戦の時、露國の重工業、軍需産業の全部が英佛ベルギーの資本の支配下にあつた。自分の國で出來た武器は殆どない。みな外國から輸入された武器で世界大戦に戦つた。それで以てロシア革命が起つてあのような結果に終つたのだから、今度は一つ自分の資源で、自分の産業を立て、さうして強固な國防國家を作つて、戦争になつても確固とした軍隊を以つて戦争をしようと思ふ目的で始めた。

第一次五ヶ年計畫を始めた時はまだ國際狀勢は今日の如くではなくて、世界の經濟的危機が始つた時だつた。それから日本の滿洲事變が始まる頃までは、世界に戦争が勃發すれば資本主義に非常な危機が來ると云ふやうな事をソ聯機關紙は盛んに宣傳してゐた。滿洲事變が一九三一年に始まり、一九三三年ナチスが獨逸の天下を取つて、東西兩方面にソ聯の強力な相手國が出現すると見るや、ソ聯は眞劍に國防充實に乗り出した。それまでは國防國家の完遂とともに矢張り理論通りの社會主義國家の建設

である。

ソ聯は五ヶ年計畫を始めた時にソ聯のみが失業者一人も無しと云ふことを宣傳し、ソ聯が宛も労働者の天國であるように言ひ觸してゐた。それは考へて見ると失業者がなくなる譯だ。五ヶ年計畫で重工業軍需工業を毎年毎年急テムポで増進され、兵隊はどん／＼殖やさなければならぬ。一方には食糧資源とか、或は軍需資材の増産をやらなければならぬからどうしても人が足りない。現在の日本が恰度それに似てゐる。失業者どころでない。猫も杓子も雇ひたい位のものだ。それをソ聯は自國だけが失業問題を完全に解消した國だと常に宣傳してゐる。

### 歐洲戰に對するソ聯の政策

昨年の八月二十三日に獨ソ不侵略條約が締結されてから又調子が變つた。一九三八年頃ドイツがオーストリアを合併した頃とか、或はそれから段々ドイツが進出し始めた頃のソ聯軍部の機關雜誌とか、或はほかの一般綜合

新聞雑誌とかを見ると、全部の鋒先がドイツに向つてゐた。それは實に酷いもので今見ると呆氣にとられるやうな毒舌が吐かれてゐる。その時はそれをうんと利用して國防体制を強化するのに努めた。こんな調子が一昨年のミューンヘン會議まで続いた。それまでは獨伊が戦争放火者であるとして、一九三七年のトハチエフスキー元帥銃殺事件とか、軍部、政界、産業界巨頭の陰謀事件などと云ふものは皆裏にドイツと日本が糸を引いてゐると稱してゐた。即ちソ聯の國力を解體せしめて中からソ聯を爆破してやらうと云ふ陰謀であつたと言つてゐる。この肅清工作は一方ではスターリン政権を強化するための手段として反對派を一掃するのに利用し、又國防國家體制を強化するための手段とした。

處が獨ソ協定即ち獨ソ不侵略條約締結後に於けるソ聯の措置が問題だと思ふ。今までの敵はドイツなり、日本なり、イタリーなりであつた。これがソ聯に向つて侵略せんとしてゐる。彼等の武力準備はソ聯を敵として進め

られてゐるのだと言つてゐた。ところが、獨ソ協定で今度はがらりと變つた。敵が變り、直接ソ聯を脅威する敵がなくなつたから、國防國家體制の建設を止めてゐるかと言ふとさうでない。一層強化してゐる。擴大する世界戦はいつソ聯に飛火するかも知れぬと云ふことにその理窟をつけてゐる。

兎に角、今度の戦争でも英國は何處までもドイツをソ聯に戦はしめて、ドイツとソ聯を共に弱らして、自分は甘い汁を吸はうとしてゐる。又ソ聯に火中の栗を拾はせようとしてやつて來た。その手をよく見抜いたのがスターリンで、英國の手に乗らず、又ヒットラーもそれと同時に東西兩戦線の不利をやめて西部戦線だけにして、ソ聯との戦線を無いものにして西部に當らうとした。ソ聯は決して他人の政策の種に使はれない。他國のために血を流すやうなことはしない。そして英對獨伊の三國間の戦争には参加しない。これは帝國主義戦争だからと標榜してゐる。斯う云ふ譯でソ聯は所謂平和と中立の政策を守

つて行くと云ふ事を強調してゐる。然しそれを説明する



モスクワ軍管區の赤軍大演習

場合に、ソ聯ではいつでも現在の戦争は益々擴大され、

戦争は世界戦争になつて來る、さうして日獨伊三國同盟が出来て、今や極東に於ける戦線と歐洲に於ける戦線と二つのものが一緒になつた。戦争は益々世界戦争に發展して行き、何時終るか見當がつかない。さう云ふ情勢の時には小さな偶發事件、突發事件が起る可能性が非常にあつて、それがソ聯に飛火するかも知れない。だから戦争が擴大されて來ると、その偶發事件、突發事件に對しても全般的な全國を擧げての動員準備體制が要ると云ふように説明してゐる。

然しそれだけではソ聯が國防體制を強化する爲の基礎が少し薄弱だと思ふ。それでそれを補つて更に聲を大にして説明してゐるのが資本主義國に取巻かれてゐるソ聯の危機と云ふことである。ソヴェート社會主義の世界と資本主義世界と二つのものが對立してゐて、資本主義世界は何時反ソ戦線を結成するかも知れないから危い、と言ふ。

## ソ聯の國家總力戰準備

然しさう宣傳することに依つて實はこの國が二つのことを狙つてゐるはしないか。それは今までソ聯がドイツと提携して以來ポーランドなり、バルチック沿岸諸國なりフィンランドなりに對してなしたと、即ち隣接弱小國のソヴェート化と云ふことを出来るだけ他の方へも發展して行かうと云ふのが一つの大きな目的である。ソ聯の斯う云ふ最近に現れた政策が、自分の國家の總力戰の準備はしながらも總力を全部使はずに、自分の敵がみな戰つてゐるから、敵同士が戰つてゐる間隙を利用して總力を全部出さないで、少しづつ、小出しにして利益を得ようと云ふ政策だ。これがソ聯の所謂中立政策で、これともう一つ國防體制の強化を狙つてゐる。

現在、ソ聯指導部の中に、二つの潮流がありはしないかと思ふ。一つは所謂愛國精神から出たもので、他の國と同じナショナリズムから出たもので、それはソヴェー

トロシヤと云ふものの國威を非常に宣揚せんとする民族國權の擴大政策である。もう一つは昔の十月革命の理念が浸み透つてゐる指導者の中には矢張りインターナショナルイズムが生きてゐる。この戰爭を利用して出来るだけ大きく社會主義世界の地域を擴大してやらうと云ふのである。さう云ふ二つの潮流がソ聯指導者の中にある。それがソ聯政府の實施しつゝある政策に合致してゐる。ソヴェート社會主義共和國と云ふものの國境を擴大しようとして云ふことと、それから、ソヴェート・ロシヤの國威を宣揚しようとして云ふことが同時に、ソ聯の政策の中に現はれてゐる。これがソ聯が今盛んに鼓吹してゐる所謂ソヴェート愛國主義と云ふものの中身でないだらうか。

## ソヴェート愛國主義と國際主義

ソヴェート愛國主義と言ふのとインターナショナルイズムと云ふのは中身を割つて見ると同じで、全然相反するやうに見えるが、その持つてゐるその内容は同じ意向の

ものである。だからソ聯が共產主義を捨てたとか、世界革命觀念を捨てた等と言ふのは間違ひで、何時でもそれは復活することが出来、情勢に應じて前面にそれを押し出して來ることもある。

一方、最近までソ聯が採つて來た對外政策を見ると、階級開放と民族開放である。ベッサラヴィヤに對してもさうだし、ポーランドの白ロシア、西ウクライナに對してもさうだ。この階級と民族の解放と云ふ二つの手を使つてゐる。さうして一方に被征服國民の歡心を得ながら、他方では自國の國權を擴大しようとする。民族開放とか、階級開放だとかこれは何處へでも使へる。非常に巧妙な手段である。英國が印度統治に於て一番苦心して操縦してゐるのは三百か四百の王侯で、彼等は今度の戰爭でも随分英國に對して献金したりしてゐる。この王侯貴族とそれから印度教に反對的立場にある回教徒をも印度統治に巧妙に利用してゐる。然し英國は印度に於てはソ聯のやうな階級とか民族開放とかの手を用ひてゐない。この

點、ソ聯の方が民族統治に獨特の方法を用ひてゐる。階級的に開放してゐるとか、地主から農民を開放してやつてゐると言ふが、これは肌着に過ぎない。看板に過ぎないのであつて、結局はその民族を自國の方に親睦せしめて行くのであつて、結局同じ民族統治の方法である。たゞその口上が非常に體裁よく、さう云ふ口上に眩惑される。かう云ふのも國權擴張政策の一つである。

ソ聯が世界革命政策を遂行する場合の看板である、インターナショナルイズムと云ふものも他の國家が弱つて來ればこれを非常に強く押し出して來る。戰爭開始以來既に一年二ヶ月経つてゐるが、その間に於けるコミンテルンの活動は多少變化を來したようである。ソ聯當局の主張する所に依ると、今度の戰爭はファシズム對デモクラシーの戰爭ではない。英國の戰爭態度はデモクラシー擁護でもなんでもない。それは獨英兩國の世界制覇戰である世界主義戰爭である、と斯う言つて置いて、さうして飽くまで英佛が戰爭の放火者であり、戰爭發頭人なり

とし、又、ヒトラーが昨年十月六日に對英和平提案をやつたのを英國側が拒否した。今や英佛が戦争を擴大し戦争放火者であると主張し、英國に對してドイツと共同の方策を執ると云ふやうなことを言つて居た。

ところが今は少し變つて來たやうだ。十一月四日付日蘇通信を見るとギリシヤ共産黨がメタクサス首相の命令を待つと云ふやうな聲明を伊希戦争に際して出したとか報じてあるし、又英國の共産黨なども今年の六、七月頃英獨和協派と親獨派を葬れと云ふやうなスローガンを出した。チエンバレンなどのミュンヘン派と言はれるものは、ナチスドイツと協調妥協して、出來得べくんばドイツの鋒先をソ聯に向けさせてドイツとソ聯を弱らせると云ふ政策を採つて來たのだが、これに對して英國共産黨は六、七月頃次のような聲明を出してゐる。即ち、人民政府を作つて學國抗爭せよと云ふのである。この人民政府と云ふのは矢張り労働者とか、知識階級とか、一般の勤勞階級で作つた政府を言ふのである。斯う云ふ眞

に國民の利益を防衛する政府を作つて戦へ、と云つてゐる。勿論表面は口に出して戦へとはいはないが、ドイツと和平するなど言ふことは戦へと云ふことである。これはなか／＼デリケートなところだ。英獨が早く和平するのはソ聯にとつて餘りよい事でないことは分つてゐる。コミンテルン自体は表面的には英獨抗爭を希望するようなことは發表してゐないが、この英國共産黨の聲明はコミンテルンの意向を反映してゐると思ふ。さう云ふところから推察するに、この戦争が即戦即決で行けば、勝つた方の國が兎に角非常に強くなる。國民の中には戦争の疲弊から不満が起つたところで、或る程度これを抑へつけることが出来る。處がこれが長期戦になつて來ると、非常な消耗戦になる。人的、物的資源を非常に消耗する。即戦即決の電撃作戦でやつて行けば、一方を殲滅的に撃破するのだから、その點不安が起らない。勝ちさへすれば國家が一層固まる。

### 「コミンテルンの謀略とソ聯國防

處が長期の消耗戦になつて來ると、これは社會問題、經濟問題など色々な面倒な問題が起つて來る。これが一番厄介なこと、國內不安が起り、餘程國家の基礎が確りした國でないとい維持が困難である。さう云ふ風なところをコミンテルンソ聯は、口先では反對なことを言つてゐるが、實際は望んでゐるのではないか。そして消耗戦では勝つた國でも、國民が今迄のやうではどうも生活がうまく行かない。なんとかしなければならぬ。生活の革新を大衆的にやらなければならぬと云ふやうな革命的機運でも起つてくれ、ばソ聯がその機會を待つて乗出すに違ひない。物的援助でも、金錢的援助でもなんでもすると思ふ。さう云ふ隙を狙つてゐる。そのためにこそソ聯は國防國家を強化し、産業を整備し、物資も随分貯蔵し、軍備も擴充したりしてゐるのではないか。

ソ聯がかかる意圖を持つてゐることの具體的例證とし

てもう一つ例を挙げる。それはコミンテルンのアメリカ



進行カンヤチタの兵クツサコ

支部長ホスターが歐洲戦は長期戦化す、と言つて、長期



戦化すれば歐洲の一般的危険が必ず來ると云ふことをコミンテルンを代辯して言つてゐることである。コミンテルンの本部が直接こんなことを言つては對獨關係があるから黙つてゐるが、アメリカのコミンテルン代辯者が、アメリカの勞働階級なり知識階級に呼びかけて言つてゐる。即ち、コミンテルンは歐洲に一般的な危機が來ることを期待して、その準備をして居るのである。だから歐洲戦争開始以來一年間に於ける共產黨の態度と云ふものはもう少し日本でも注意すべきである。昨年のソ聯革命記念日にコミンテルン書記長デミートロフの書いたものとか、或はコミンテルンの聲明とかの表面的な發表だけにゴマかされずに、もう少し各國共產黨の具體的な活動に注意すべきである。

イタリーにしても、ドイツにしても、今即ち離れずにソ聯と非常に接近して行かうと云ふやうな、樞軸國の對ソ政策にしても、あゝ云ふ政策を獨伊が思ひ切つてとれると云ふのも獨伊の如き體制を豫め作つて置いてやれ

ねばならぬ秋だ。内を本當に統一するために、基礎をコンクリート化するためにどうしても新體制が必要だと思ふ。さうすれば、ソ聯とどんな關係を結んでも平氣である。ソ聯を一大敵國に廻すことも出来れば、一大友邦に廻すことも出来る。さうして置かないと、偶々ソ聯と接近するなど云ふと、色々な雑音が起つたりする。本當の一億一心のコンクリート再建築が出来て終へば、そんな雑音も起らない。

### ソ聯に於ける政戰一致

國防體制で重要なことは政治と戦争の關係である。その問題についてはソ聯軍部の首脳連は飽くまでもクラウゼウイツチの戰略思想を執つてゐる。「戦争は他の手段による政治の繼續なり」と云ふクラウゼウイツチの根本思想を採つてゐる。即ち戦争は政治の一部で、政治の手段にして目的に非ず。飽くまでもこれは武力による政治の繼續である。ソ聯は斯う云ふ建前を執つてゐるから、彼等

ばソ聯とどんな關係になつても國內的に大した不安はない。イタリーもドイツも共產黨の問題では永年苦林を嘗めた後に今の體制ができたのである。ドイツがあゝ云ふ體制を作つて今度ソ聯と結んだと云ふことはなかく味はひの深いことである。これは國家のオルガニズムとしても、機構としても、色々なイデオロギーの點に於ても、すつかり共產黨に對する抗毒素を作り上げた後だから、今後ドイツが戦争繼續とともに、どう云ふ風にドイツの社會情勢に變化が來るか豫言することは出来ないけれども、然し共產黨に對する抵抗素は出來てゐる以上、共產主義的な動搖は餘り心配しなくともよい。それ以上の頑丈な國家體制を作つて臨まうとしてゐるから、今のところ餘り危険がない。日本なども一億一心の本當に熱のある新體制が出来上つて終へば決して共產主義などは恐れるに足りない。

さう云ふ意味に於て、日本でも戦争を大分長くやつてゐるが、これからも再發奮して確固たる國家體制を整へる立場に於ては政戰兩略は常に一致してゐる譯である。その間に何等差異はない。だから政治が戦争に從屬したりする支配關係はない。従つて政治家が軍人に隸屬したり、又軍人が政治家に隸屬したりする關係はない。その點、渾然一體となつてゐる。

然しその點最近の赤軍内務教令と云ふものを見るとその第五項に「軍人はレーニン・スターリン黨及びソヴェト政府に無制限に服せざるべからず」と規定してゐる。さうすると矢張り統帥權が政府にありと云ふやうに思はれるが、黨と政府には軍人が入つてゐるから、本當の立前はクラウゼウイツチの「戦争は他の手段による政治の繼續なり」と云ふ所から一切出てをり、其處から發展してゐる。然し實際にこれを見る場合に、軍と共產黨と行政機關の上に、スターリンと云ふ獨裁者が跨つてゐる。それで或る場合には、軍の方が強くなり過ぎると行政機關の手を借りて軍を抑へる。黨がのさばつて來ると軍の手を借りてこれを抑へる。斯うしてうまく國家を調節

してゐる。それがソ聯の指導者としてのやり方である。然し實際上から見ると軍事専門家と、行政専門家と、共産黨首脳部とはそれ／＼立場が違つてゐる以上、その行ふ主張も異つて来る。それで實際の運用が時には難しいこともあるが、最近近代戦争遂行上、一元統帥と云ふことが非常に必要であると云ふことを悟つて、最近迄の政治部員と各部隊の部隊長との二元統帥を止めて、軍の政治の方は、政治局と云ふのが無くなつて政治宣傳本部と云ふものに變つた。従来は各部隊の部隊長でも政治部員の了解がなければ一兵をも動かすことができなかったが、今回の改正で政治部員は各部隊長の助手であり補佐官であつて、部隊長に全権限が屬してしまつた。即ち一元統帥になつた。これは矢張り戦争の形態が要求し、世局の混乱時代に軍人が方々で活動したから斯う云ふ風になつて來たのでないかと思ふ。昨年暮のソ芬戦當時、この二元統帥に災されて、ソ聯軍の指揮が非常に亂れて、その爲にソ聯軍の戦績が芳しくなかつた経験にもよるも

のであらう。

### 赤軍に於ける體制強化の實相

それから最近將軍提督制度を復活した。昔革命以前には、國民は將軍をまるでばかにして、ゼネラルとかアドミラルとかに對しては、さう云ふ言葉だけでも非常に反動的なものであると言つてそつぽを向いた。處が今度はその制度をソ聯政府は嚴然と復活せしめた。さう云ふところを考へるとソ聯の軍制は段々舊體制に戻りつゝある。國際情勢の發展とともに、戦争の進展とともに、ソ聯に於ては赤軍だけは新體制から舊體制に戻りつゝあるように思はれる。

最近行はれた赤軍軍紀振肅の問題でもさうである。各部隊長は勿論その他の下士官に於ても部下に對する権力が非常に増大した。上官の命令は絶対服従である。こんなことは以前にはなかつた。昔は「タワリーシチ・ゴマンチール」(同志司令官)と呼んで、上官、司令官に對し

ても友達扱ひにし、又これを誇つてゐたものである 處



(撃突の兵歩) 習演大軍赤の區管軍ドーラゲンニレ

が今度は絶対それをやめてしまつた。現在はどう呼んで

あるか分らないが、上官の命令は絶対であると云ふことにした。若し命令を背かなければ暴力を揮つても構はないと云ふ風に變つて來た。これは極く最近である。だからソ聯の軍隊でも日本流になつて、びんたを喰はせても上官の命令は絶対服従すべしと云ふ風になつた。

最近或る方面のソ聯觀測者の見るところによると赤軍の内部に於て共産黨勢力を追ひ出す努力が拂はれてゐると言はれてゐる。共産黨の指導者をどん／＼追ひ出すと云ふことは最近チモシエンコ國防相の述べてゐるものを見ても、はつきりとはないが出てゐる。それで益々ソ聯の共産黨の軍事干渉と云ふものは除外されて來はしないかと思ふ。それでなければ最近の戦争は出來ない。以前のやうな革命者同志で結合して戦争を行ひ、労働者農民を煽動すると云ふ時分はよかつたが、最近になると赤軍そのものが労働者農民軍でなくて、本當の國防軍、國民軍、全國民から成るところの軍隊になつて來た。さう云ふ傾向、勢力が段々強くなつて來た。それで永

年國防人民委員であつたウオロシロフ元帥が引つ込んで、チモシエンコ元帥が國防人民委員になつたと云ふこともソ聯の軍事體制を見る上に重要なことで、ウオロシロフのような舊時代の軍政家でなしに近代軍専門家としてのチモシエンコの如き軍人を重要視して來たのである。スターリンはソ聯赤軍の特質を擧げて、その第一は開放された勤勞者の軍であると述べてゐるが、さう云ふ性質は今の赤軍に無い。もう一つは、ソ聯赤軍は諸民族の兄弟的團結の軍であると云ひ、又、インターナショナルリズムの軍であると強調してゐる。さう云ふ意味に於てソ聯赤軍は軍と民と云ふものは相離るべからざる關係にあると主張してゐる。これが非常に大事なことである。だから「ソ聯では戦争が始まれば戦線と銃後は一つだ。軍隊は自分の民族、自分の階級から出たものだ。又諸民族が合體したもので、その民族間にはなんら服従、被服従の關係もない。斯う云ふ民族を擁護する軍はほかに無からう。赤軍はインターナショナルリズムの軍で、ソ聯は

その先頭に立つ社會主義の組織だ。ソ聯を守る軍であるからインターナショナルリズムの軍であつて、いつでも勤勞者及び被壓迫民族の塊である軍だ」と、斯う云ふことを言つて宣傳してゐる。

實際はそれは國內の軍の結束のための一つのスローガンであり、外國に對して自國の軍の武力を以つて侵略した場合の言譯的のものに過ぎない。然しさう云ふことを以て軍と云ふものと民と云ふものとの一致を圖ることを目的としてゐるのを見落してはいけない。さう云ふ標語をかゝけて軍民の結束の強化に努めて來た。最初ソ聯赤軍は勞衛軍と稱し、次に赤衛軍となりそれから現在の赤軍と云ふものに發達した。初めはまるで馬の鞍を枕にして寝てゐたやうな兵隊だつた。武器でも白軍から取つたものを少ししか持つてゐなかつた。それでソ聯は、軍民の一致と云ふこと、勞働及び國防と云ふことを最も重要なこととして努力して來た。現在でも、赤軍の兵隊は非常に國家から優遇されて、一種の特權階級を形造つてゐ

る。その次に、赤軍に色々な武器その他を補給する勞働者が優遇されてゐて、これがソ聯に於ける二大特權階級だと言つてゐる。

### ソ聯の科學精神と國防

最近よくソ聯の赤軍兵士の演習の寫眞を見受けるが、それを見ると服装から態度から顔の表情からまるでドイツの軍人にそっくりである。戦闘帽から鐵兜から何から何までドイツの軍人と少しも變らない。或は赤軍の兵士はドイツの軍人と同じやうに矢張り規律化され、戦闘するやうに訓練されてゐるのではないかと思ふ。ソ聯の技術方面を見るに、色々な文化商品とか或は民需物資、例へば時計が直ぐ止つてしまふとか、衣服類の品質が粗悪であるとかと云ふことは事實であるが、それを標準にして軍需工業を測定するのは危険である。實際の飛行機とかタンクとか云ふものを判斷することは出來ないと思ふ。ドイツの如きは、民需商品或は民需物資と戦闘器材

との間に餘り開きがない。日本で一寸眞似のできないやうな立流なライターが作られ、又立派な戦車が作れる。處がソ聯の謎と云ふのは民需品と軍需品に開きがある點である。さう云ふ民需品とか民需物資とか所謂文化商品と云ふものはソ聯では餘り良くななくても、軍需物資の方には全力を注いでゐるかも知れない。ソ聯と云ふ國は大體さう云ふ國柄である。そこを知らずに、飛行機もある通りだと思ふのは間違である。

最近、二十四人かのソ聯の航空工業の設計技師が表彰されて、その中幾人か博士になつた。あの連中なども相當な機械を作つてゐるものと思ふ。その時に航空人民

## 日比谷山水樓

電話銀座 (57)  
七五八八  
五八八八  
三〇八〇

委員シャフリーンの發表してゐる話によると、「わが航空兵はフィンランドに於て、或はノモンハンに於てこれらの飛行機技師の作った飛行機を十分に操縦して、十分に活躍してゐる」と云ふやうなことを言つてゐる。それには、矢張り相當の偉い技術家があると見なければならぬ。

昔からソ聯と云ふ國は一般民衆は技術や科學などに縁が遠いけれども、科學方面や藝術方面でずば抜けて優れた人間が現はれる國で、ロシア人は非常に粘り強く組織的に研究する。寧ろ狂的な熱意を以つて研究し、さう云ふ點では馬鹿に出来ない。ドイツの如くに國民全般に科學精神、技術精神と云ふものが浸み込んでゐて、國民全般が組織された技術國民と云ふのは違ふけれども、これをドイツのように組織しようとしてゐるのが今日のソ聯の考へでないかと思ふ。以前にはソ聯に、飛べない飛行機などと云ふのもあつたかも知れないが、今日はもう飛べる飛行機の方が多いだらうと思ふ。

### 國防上から見たソ聯農村問題

次に國防體制の大きな問題となるのは赤軍兵士の士氣如何と云ふことである。赤軍兵士の中には農民の方が多し。それで農民の生活如何と云ふことが、士氣にも隨分影響、關係を有つてゐる。その點に於てはソ聯當局と雖も決して樂觀してない。ソ聯の所謂コルホーズ農業、集團經營と云ふのは社會主義と個人主義のちやんぼんの經營形態である。今の日本の言葉で言へば、公益優先と私益尊重と云ふ二つの原素をちやんぼんに結合したものである。それでソ聯に於ては農民を勞働者みたくにし、コルホーズ（共營農場）に組織して團體農民としてやつてゐる。農民を勞働者のやうに組織して、コルホーズの公益主義の經營に農民をうんと働かして、私益の方は餘りやらせないと思ふ。然しソ聯も農民全部を團體勞働にばかり従事せしめて公益主義に奉仕せしめることが不可能であると云ふこと

を悟つて、例のコルホーズ定款で、農民の屋敷附屬地として一町歩か一町半程やつて、それで自分の食扶持や或は出來たものは賣つてもいい、と云ふやうな個人經營を許し、二つを併せてやつて行かうとしてゐるがなか／＼うまく行かない。と云ふのはこんな私經濟を許すと農民はその方ばかり力を入れて矢張り公益の方はそつち退けになる。コルホーズ全體の公益の方には一ヶ月に二日とか三日しか働かず、自分のものは一生懸命やると云ふことになる。又コルホーズの村長さんと云つた格の者が他人の土地を削つたり、個人に譲つて賣つたりする。そんな譯で、農民の中には土地を共營農場へ返すと云つたものが絶えないところを見ると、農民に於ては公益優先だけではうまく行かないと思ふ。私益尊重をもやる必要が生れて来る。私益尊重と云ふのは生産の刺戟劑である。兎に角自分の屋敷附屬地で出來たものは自分で勝手に處分が出来る。賣りも買ひも出来る。どうしても一生懸命でやるやうになる。さう云ふ傾向が少なくなつたか多く

なつたか、今のところ分らないが、その傾向はソ聯に於



ソ聯人飛行士訓練

て根絶しないだらうと思ふ。

さう云ふ意味でソ聯の軍部首脳部は、農民の生活状態と云ふものが、農民出身の多い兵士の士気に關係するところ非常に大きいと考へてゐるから、共産黨の連中が如何にして公益優先で以て自分の屋敷附屬地の私益労働をやめろと云ふことを言つても、軍の首脳部が承知しないだらうと思ふ。さう云ふ譯で兵隊を扱つてゐる赤軍の首脳部と、共産黨の首脳部の間には非常な疎隔があるように思はれる。このような問題で農村出身の兵隊の氣持がぐらついたらそれこそ問題だ。

### ソ聯に於ける公益優先と私益

此處に私益と公益優先と云ふ問題が出たが、ソ聯に於ては現在この問題に就いて、ソ聯一般の諸活動は、半面は個人のために、半面は公益のために行はれると言つてゐる。だから私益と公益とを二つの相反對するものと見ない。これは一つのものだ。「公益を増大することは私益を増大することだ。一生懸命働け。國家を富強にせ

よ。兎に角、國家の利益になることは自分の利益になる。自分の利益になればそれだけ國家を富ます。國家を富ませ、富強にすれば、それだけ自分の家庭も富んで来る。さうして自分の子供が幸福になる。だから私益と公益の間には片方が片方の犠牲になると云ふことはない」と云ふ宣傳をやつてゐる。日本に於ては、公益優先をどう云ふ人々に向つて説かなければならぬか。日本に於ても、或る階層にある人達は、公益と私益とが一致してゐるかも知れない。

例へば公吏が一生懸命役場のために盡す。これが村の爲になる。それがために公吏も月給が上つて行く。これが公益と私益の一致と云ふことが或る階層に於ては實現してゐる。ソ聯に於てはその點は理窟の上に於ては事實上兎も角公益と私益とは一致してゐる。その理窟を以てソ聯の國民精神を振興しようとしてゐる「我が國土を擴大することは自己を守り、且つ自己を擴大すると云ふことである。」理窟としてはこれはうまい理窟もつけやうで

ある。

### 經濟統制機關の問題

ソ聯經濟に於いては全經濟を個人が握つてゐないで國家が握つてゐるから、國防經濟と云ふ經濟體制を援用する上に於て都合がよい譯である。民間のものが經濟を色色に分けて持つてゐる譯でないから、國防經濟體制をどう云ふ風に援用してもその間に色々な摩擦や犠牲の生ずる憂が殆どない。斯う云ふことが先づ國防經濟の特徴であると思ふ。全經濟が國家の手中にあると云ふ以上、ソ聯のやうな何でも彼でも一元統制でやつて行かうと云ふ國に於ては經濟の省、經濟人民委員部と云ふものが非常に澤山ある。ソ聯に人民委員部(日本の各省に相當する)と云ふものが四十ばかりあるが、その中の大部分は經濟關係の人民委員部である。それが非常に多く専門化されてゐる。例へば機械工業にしても、重機械人民委員、中機械人民委員、輕機械人民委員と云ふ風に分れてゐる位

で、資源關係では石油人民委員、石炭人民委員に分れてゐる。あゝ云ふ國柄であり、國民經濟が全部國家の手中にあるからさう云ふ専門の省、専門人民委員を置いた方が能率が上るのでないかと思ふ。さう云ふ人民委員(大臣)が四十人もある。大臣が四十人もあると云ふ國は何處にもない。然し經濟人民委員の中でも、水運とか、河川とかの人民委員は餘り實際上的發言權は持つてゐないようである。そして、本當に經濟の根本方針を決定するのは軍部關係の人員委員とか、經濟關係でも重要な人民委員がやつて、他のものはほんの事務大臣に過ぎない。ところが、このような經濟關係人民委員の更迭が頻々として行はれる。ソ聯では、或るポストについて能率が上らないとすぐ職になる。實に簡單に職にする、だから主なる所は黨の幹部と、それから人民委員の主要なものが決定してやつてゐるのでないかと思ふ。最近經濟會議と云ふものを組織したが、これは前に言つた労働國防會議の後で出來た最高國民經濟會議(これは今の經濟人民委員部

に分れたものなのだが、を再建したものと思ふ。この經濟會議のメンバーは以前にはみな大臣がなつてゐたのであるが、今度は次官がなつてゐる。だから権限は非常に小さいと思ふ。餘り經濟關係の人民委員が専門化し、餘り多數出來たものであるから、それを統制するのに種々の困難がある。それで經濟會議と云ふものを置いたのではないかと思ふ。

### 國民性まで陶冶せんとする労働

#### 規律強化

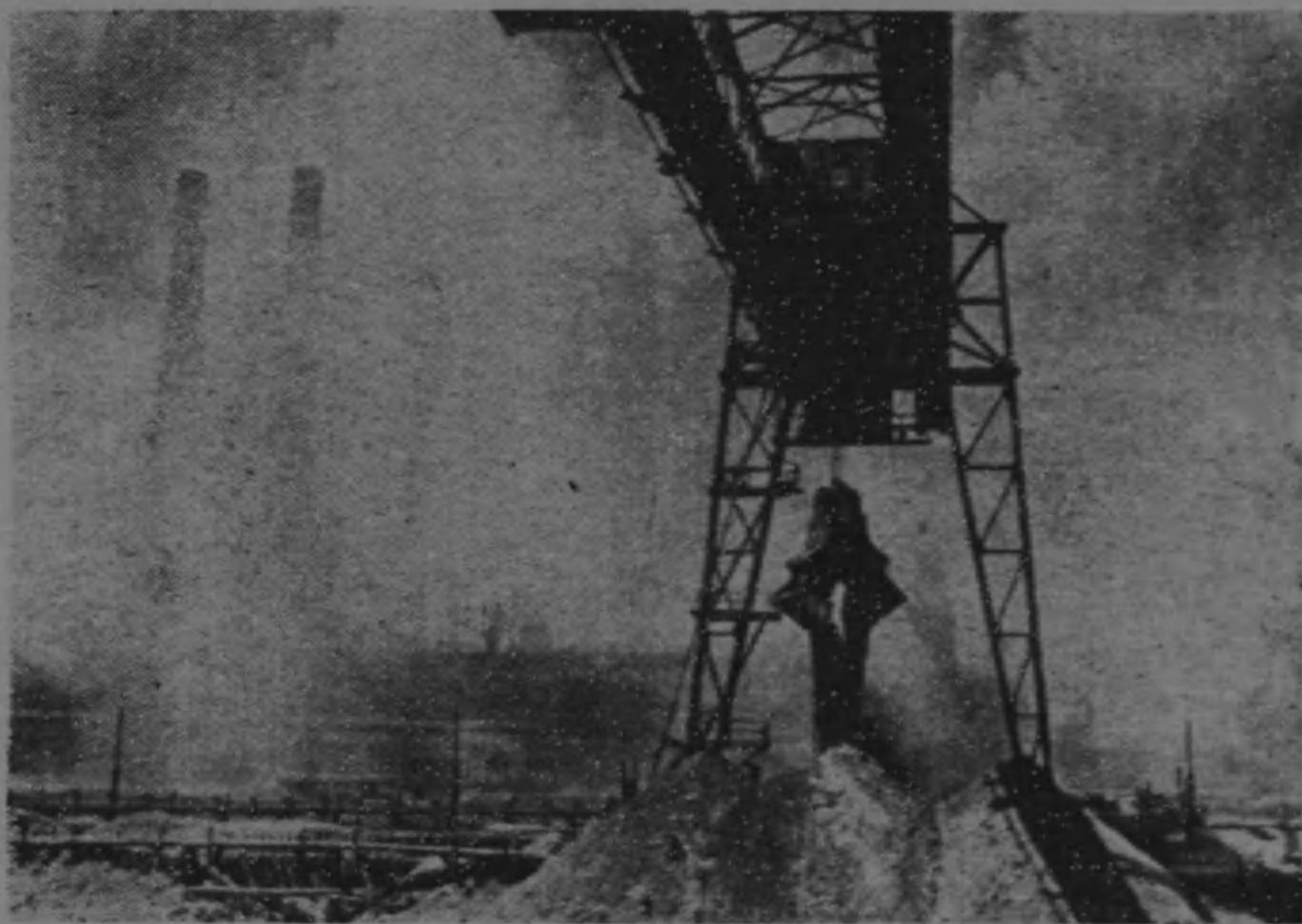
最近矢張り國防經濟方面で重要なことは、色々な企業——石油でも石炭でも——色々なトラストがあるが、これは各主管の經濟人民委員部でディレクター（支配人）と云ふものを任命する。それに非常な絶對な権力を持たしてゐる事である。これに國務一元統制——經濟の一元統制、企業の一統制——が絶對権力を持してゐる。そして他のものには四の五の言はせないと云ふやうな傾向に

なつて來た。これも經濟上の國防體制強化の一つの現れでないかと思ふ。さうしてこれが、軍部方面に於ける一元統制と併行してゐる。

處が企業の支配人——會社の支配人——が、日本では自分が餘り規律を喧しく言つたりすると、下から色々なことを言はれ具合が悪いものだから、大目に見たりする。ところがソ聯に於ては、なせもつと確りやらないかと上部から叱責されて、若し職務に遅延を來すと、どしどしさう云ふものはやめさせられてしまふ。

そこで労働技術の強化と云ふことが問題となつて來るが、これが、本一九四〇年を通じてソ聯が國防國家體制強化のためにやつた一番の主眼點だと思ふ。これは、前に言つたところのレーニンがソヴェート政權の基本任務の中で言つたことを再び強化したものだらうと思ふ。最近發布された労働法は酷い労働強化である。これまでロシア人はニチエヴォ主義だと言はれて來た。暑さも寒いもニチエヴォ、嬉しいも悲しいもニチエヴォ、で以て通し

て來た。例へば勤務時間に遅刻しても「ニチエヴォ」して通



軍需工場建設の行つたあつる

つた。さう云ふロシア人の國民性を根本的に叩き直して

アメリカ式の制度を實行したのは今年の九月に發布された労働規律振肅令である。これは非常に厳しいもので、正當の理由なくして缺勤した場合には法廷へ持ち出して法律にかける。缺勤が一番悪い。それから自分が其處にゐるのが嫌になつてほかに転職したりする自由転職を絶對に禁じてゐる。遅刻にしても従來は三時間位は大目に見られてゐたが、今度は二十分でもいけないと言ふ。正當の理由が無ければ直ぐ解職になる。堪つたものではない。或は正當の理由なくして缺勤すると月給の二十五パーセント位でその場で三月間の強制労働に附される。強制労働と言つても、別にシベリヤへ送られる譯ではないが、會計係ならば會計係をやりながら強制労働をやる。結局月給を減らさせる。月給が二十五パーセントになるからとてもやつて行けない、と云ふ懲罰を受ける。かう云ふことで、ソ聯當局は、例のないやうな酷い労働強化を斷行した。

更に最近ソ聯は労働時間を延長した。ソ聯は今までは

かの國と比較して労働時間は短いと云ふけれども、ソ聯の労働時間と云ふものは晝までなら晝まで、晝の休みは何十分と決めてその時間以外は絶対に油を賣らせない。びつたりと決めてびし／＼やる。強化された労働の連続で、これでは労働時間が短くても堪らない。最近の労働時間の延長は七時間を八時間、又一週を一週七日にした。それをやつたのはソ聯労働組合中央評議會の主張によるものである。このソ聯労働組合は従来とはその性質が大いに異つてゐる。労働組合と普通の名を冠してゐるが、その性質及び機能が非常に變つてゐることを注目せねばならぬ。初めは労働組合と云ふものは、ソ聯に於ては労働者が天下を取つたのだから、社會主義を教育する機關だとか、共產主義の學校とか色々な目的を有するものだと云はれてゐた。二、三年前に肅清工作の犠牲になつて槍玉に擧げられて自殺したトムスキーと云ふ男が労働組合中央評議會の會長をやつてゐたが、彼がやつてゐる間は本當に労働者の地位とか、待遇向上とかと云

ふ問題に盡してゐた。それが肅清工作で槍玉に擧げられて、今のソヴェルマクが労働組合中央評議會の會長になつてから全然労働組合の報國機關、労働報國機關となつて來た。ドイツの労働戦線、或はそれ以上の國防國家完成の爲の労働機關になつて來た。而もソ聯に於ては労働組合の色々な實行組合などの組合員が約三千万人に達してゐる。その三千万人の労働者をどんな風にも動かしてゐる。それで労働時間延長も労働組合が提案して、それをソ聯邦最高會議幹部會令として發表した。そしてその次の日から、給仕から局長に至るまでそれを實行させる。一夜にして全く變つた。こんな所がソ聯は實に恐るべき國である。兎に角現在のソ聯労働組合はさう云ふ風な産業報國機關になつてゐる。

### 自給自足を目指す國防經濟

經濟問題についてはソ聯としては矢張りアウトタルキーの原則に準據してゐる。ソ聯は公益統制經濟を確立しよ

うとしてゐるのである。が、これを自給自足の基礎の上に確立しようとしてゐる。ソ聯の國土は廣い。東は太平洋から西はバルチック沿岸まで延びてをり、北は北極洋から南は黒海に至つてゐる。あの廣大な資源豊富な地域に於いて公益經濟、自給自足經濟の地盤は出來てゐる。他の國ほどガツ／＼しなくてもいい譯である。然し不足資源もあることはある。ゴム、非鐵金屬などはそれである。然し合成ゴムの工業化に成功し、その自給自足に近づかうとしてゐる。或はゴム含有の草などを栽培してやつてゐる。然し英國が持つてゐるやうな熱帶資源と云ふものはない。金屬でも大抵のものにはあるが、モリブデンとかヴォフラムとか錫などは矢張り足りないと思ふ。中央アジアで隨分採掘に力を入れてゐるがまだ足りない。これをうんと開發して行けば他の國ほどガツガツしなくとも自給自足でやつて行かれる。自分の領土を益々擴げてアウトタルキー經濟を確立しようとしてゐる。各國に依存しない經濟である。これはこの前の世界戦で

非常な苦杯を嘗めた經驗があるから、本當に獨立經濟を立てようとしてゐる。

本位制問題から言ふと、ドイツが労働本位制をとつてゐるやうにソ聯に於ても労働本位制であると思ふ。金本位制でなくて労働本位制である。さう云ふ意味に於てソ聯とドイツとの間には經濟上の聯關を持つてゐる。ソ聯のルーブル貨とドイツのマーク貨の關係については、マクとドルとの關係と違つて來る。今のソ聯が國家體制を作る根本はそこである。色々な資源によつて自國の産業を發展させ各國に依存しない。軍事上にも經濟上にもさう云ふものを立てなければならぬと言ふのである。然

日本料理 山王下 幸樂  
北京料理 高等牛肉

總町區永田町二丁目廿九  
電話帳 二八〇〇 二二二二  
二八〇〇 二二二二

し不足資源もあり、その他の點から矢張り或る程度までは貿易に依存しなければならぬが、その部分は極く少い。

### 人間の計画的な養成と配給

計畫經濟については、ソ聯の計畫經濟は餘りにも有名で日本でも相當紹介されてゐる。この計畫經濟は他の國の統制經濟とはその本質は違つてゐる。レーニンと云ふ男は一面に偉いところがあつて、經濟の基礎を算定と統制管理に置いてゐる。現在戰爭をやつてゐる國々に於ては消費統制と云ふことが非常に喧しい。處がソ聯に於てはレーニンが天下を取らない前、外國からロシアに歸つた頃、二月革命が起つた直後にそれを盛んに言つてゐる。消費統制と云ふこともあの時は各國ともパンの切符制を布いた。ロシアでもやつた。がこれは非常に不徹底だつた。それで贅澤品まで統制せよと言つた。ロシア政府はそれまでやつて相當消費統制をやつた。然しそこまですつても抜け道はいくらかもある。それで消費統制を勞

働者が管理しようとする主張を出した。そこまで行かなければ經濟統制は徹底しない。今の計畫經濟と云ふのは、出發はロシアのあの時の必要から生れた消費統制から始つたもので、總ての生産と配給を統制的にやるのである。

最近ソ聯軍部の新聞は斯う云ふことを言つてゐる。「物を計画的に生産、配給すると同じやうに人間を計画的に養成し、産業各部門に配給しなければならぬ」。勞働補充軍養成令と云ふのが去る十月三日に發令になつたが、これが、右の目的で發布されたものである。ソ聯では現在どの位軍隊に召集されてゐるか分らないけれども、尠くとも、三百萬人位は鐵砲を擔いでゐると思ふ。従つて勞力が不足して來るのは當然である。それでこの勞働補充軍養成令を出した。これは最高會議幹部會議から出るのである。それと、ともに勞働補充軍本部と云ふのを作つた。これはえらい機關で、毎年八十萬乃至百萬人の青少年の勞働教育、技術教育をやつて、産業に配給するのである。この法令は、ソ聯國防體制を觀る上に極めて重

大であるから一應全文を掲載して見ることにする。

### 勞働補充(豫備)軍養成令

我産業將來の發展課題は炭坑、鑛山、運輸機關、工場に對する新勞働力の恒常的流入を必要とす。勞働階級構成員の不斷の補充無くしては我産業の成功的發展は不可能なり。

我國に於ては失業は完全に絶滅し、都市及村落に於ける貧窮及荒廢は永久に跡を絶ちたる結果、我國に於ては工場の門を叩き職を乞ふの餘儀なきに至り、斯くして自然發生的に産業の爲勞働力の恒常的豫備軍を構成するが如き者は存在せず。斯る事情により國家は都市及コルホーズ青年を以て新勞働者を組織的に養成し産業の爲必要な勞働豫備軍を創設するの課題に當面し居れり。

ソ聯邦最高會議幹部會は産業の爲の國家勞働豫備軍を創設するの目的を以て左の通り決定す。

第一條 毎年八〇萬乃至一〇〇萬人ヨリ成ル國家勞働

豫備軍ヲ産業へ移讓スル爲都市及「コルホーズ」青年ヲ徒弟學校、鐵道學校及工場學校ニ於テ一定ノ生産職業を習得セシムル方法ニヨリテ養成スルヲ必要ナリト認ム

第二條 熟練勞働者タル金屬工、冶金工、化學工業勞働者、鑛夫、石油勞働者及他ノ複雑職業ノ勞働者並ニ海運、水運及通信企業ノ爲ノ熟練勞働者ヲ養成スル爲諸都市ニ修業期間二箇年ノ徒弟學校ヲ組織ス

第三條 鐵道運輸ノ熟練勞働者——機關手、助手、機關車及車輛修理鍛冶工、汽罐手、線路修理作業班長及他ノ複雑職業ノ勞働者養成ノ爲修業期間二箇年ノ鐵道學校ヲ組織ス

第四條 多數人員ヲ要スル職業、第一ニ石炭工業、鑛山・鑛石工業、冶金工業、石油工業及建設事業ノ爲ノ勞働者養成ノ爲修業期間六箇月ノ工場學校ヲ組織ス



第五條 徒弟學校、鐵道學校、工場學校ニ於ケル授業ハ無償トシ生徒ハ修業期間中國家ノ支給ヲ受クルモノト定ム

第六條 國家勞働力豫備軍ハ「ソ」聯邦人民委員會議ニ直屬シ且政府ノ許可無クシテ人民委員部又ハ企業ニヨリ利用セラレ得サルモノト定ム

第七條 「ソ」聯邦人民委員會議ニ對シ徒弟學校及鐵道學校ニ於テハ年令一四—一五歳、工場學校ニ於テハ一六—一七歳ノ都市及「コルホーズ」青年男子ヲ修學セシムル爲毎年八〇萬乃至一〇〇萬名ヲ召集(動員)スル權利ヲ附與ス

第八條 「コルホーズ」議長ハ一四歳以上五五歳未満ノ男女「コルホーズ」員一〇〇名ニ就キ徒弟學校及鐵道學校ニハ一四—一五歳ノ者ヲ、工場實習學校ニハ一六—一七歳ノ者ヲ各二名宛召集(動員)ノ手續ニヨリ毎年コレヲ派出スヘキ義務ヲ有ス

第九條 都市勤勞者代議員「ソヴィエト」ハ「ソ」聯邦人

民委員會議カ毎年定ムル數ニヨリ一四—一五歳ノ男子ヲ徒弟學校及鐵道學校へ、一六—一七歳ノ男子ヲ工場學校へ召集(動員)ノ手續ニヨリ派出スヘキ義務ヲ有ス

第十條 徒弟學校、鐵道學校及工場學校ヲ卒業シタル者ハ總テ動員セラレタル者ト看做サレ「ソ」聯邦人民委員會議附屬勞働豫備軍總管理局ノ指示ニ從ヒ一般的原則ニ基ク作業場所別ノ賃金ノ保證ヲ受ケ國營企業ニ於テ連續四箇年勞働スルノ義務ヲ有ス

第十一條 徒弟學校、鐵道學校及工場學校ヲ卒業シタル一切ノ者ハ本令第十條ニ依ル國家企業内勞働義務年限滿了ノ時迄赤軍及海軍へノ召集延期ヲ受ク

これは非常に大きな意義をもつ法令である。この法令に依つて今度は初めて人的資源の統制が始まつた。今までの計畫經濟は物資資源や財政の方面であつた。茲に於て初めて今度は人的資源の計畫經濟が始まつた譯である。今度の人的資源の計畫經濟と云ふことは前に言つた通り

「勞働と國防」との計畫化に着手したものであり、その段階に達したのがソ聯の計畫經濟であると云ふ事ができる。しかも恰度それが昨年ソ聯で國勢調査をやつた後である。この國勢調査は實に詳しい調査で、色々な調査項目が十四、五項目もある。この國勢調査が今度の法令に非常に役立つ。例へばコルホズ農村なんかでは強制的に青少年を勞働學校へ出す。百人につき二人か三人どうしても出さなければならぬ。この勞働者養成に政府は十億ルーブルの費用を計上してゐる。かう云ふ養成でなければ眞の高度國防國家は作れないと思ふ。考へて見れば恐るべき計畫である。

### ソ聯の國防體制強化と我等の覺悟

ソ聯は高度國防國家の建設に躍起となつてゐるが、この勞働補充軍養成令の一事だけを見ても、ソ聯が如何に龐大な國防國家體制を目指してゐるか、と云ふことが分かる。これを動かしてゐるのは組織の力である。矢張りそ

こに共產黨の力を無視することはできない。最近ソ聯の共產黨員及び准黨員は四百萬になつてゐる。これは矢張りまたなんと云つても色々なことを騒いで宣傳したりするの一番いゝ。それから共產青年同盟、これは黨の外廓運動である。この青年同盟員が一千萬人を、それから前に言つた勞働組合が約三千萬を、又大衆的國防團體であるオソアヴィヤヒム(國防飛行化學協會)の會員が一千万人位ある。その上、前述のゲ・テ・オの運動があり、更に入營前の軍人教育をやつてゐる。かう見て來るとソ聯の國防組織は世界無比の龐大なものである。勞働者でも農民でもなんでも彼でも體育をやつてゐるし、こ

新設熱海支店

竹葉亭

本町・東町・丸之内・丸之内・大田  
藤・新橋・内町・各町 大田

の體育が戦争技術と非常に密接にくつ付いてゐる。鐵砲を打つのがうまいとか、バラシュート降下とか、入學した時にはもう半分位既教育兵になつてゐる。さう云ふやうに勞働と國防と合致させた。だから要するにソ聯國防體制と云ふものは勞働と國防の尊重だと思ふ。これはなると言つてもソ聯の國家の一大支柱であつてこれを無視してはいけない。ドイツもその點同じものだと思ふ。ソ聯當局は外國に於ては勞働は商品で、賣物であつて一部の人のために奉仕してゐるものであると言つてゐるが、ソ聯に於ては勞働は名譽だと言つてゐる。ドイツと同じやうに、何は置いても先づ勞働と國防の擔當者を一番尊重してゐる。尊重せざるを得ない。この點が最も注目すべき事である。

現在ソ聯は平和中立外交政策を執つてゐるが、片方に日獨伊三國同盟が出来、片方に英米の協同は益々強くなつて行く。こゝに事實上若しも英米同盟と日獨伊三國同盟とが全面的對立状態になつて行くと云ふことになれば

ソ聯はこれはしめたと思ふに違ひない。これ位大きい世界戦争はないと思つてゐる。これこそ彼等の所謂資本主義世界に於ける相互對立であるとしてゐる。その間に處して若しもソ聯がどつちにもつかずに中立を守り得て、そ泥を働き続け、國內で國防國家體制を完成し得るとすれば、インターナショナルイズムと國威宣揚と勞働の手を使つて非常に強い國になる。非常に有利な國になる。日本としては非常な注意を以てこれに對しなくてはならぬと思ふ。

我々がこのソ聯の體制を見る上に於て、單にソ聯は斯くやつてゐるから我々はソ聯の眞似をしなければいかんと云ふやうなことは、怪しからぬことである。それよりも、ソ聯は斯う云ふことを斯うやつてゐるから、我々はそれに對抗してより以上のことをやるのはどう云ふ風な體制で行かなければならぬかと云ふことを考へる必要がある。我が爲政者はよく考へて、より以上の體制、ソ聯より以上の體制を以て臨まんとしてゐるものと思ふ。單

にソ聯が斯う云ふ體制を行つたからとか、今かう云ふ風になつてゐるからと言つて、今直ぐそれを手本にすると云ふことはよくないことである。日本は今や紀元二千六百年、肇國以來の八紘一字の大理想で一大躍進の時である。然しソ聯は高度國防國家體制を完成するのに極めて好い條件を備へてをり、ソ聯當局者はこの完成に躍起となつてゐる。だからそれに對抗するには、我々國民としては一層注意を要する譯で、舉國一致の努力、一大決死の勇を以て、建國の精神を發揮した體制を作る必要がある。今までは所謂メッキ憂國者が随分あつたが、これからは眞の憂國者が現れて、日本國家を擔當してやるべき時機が到來したのではあるまいか。

## ソ聯の帝國主義

ヘンリ・ウルフ著 遠藤浩譯

定價 一・八〇  
送料 一・二〇

東亞共榮圈達成の途上にある日本にとつて、最も重大な問題はソ聯の外交政策であり、その動向を正確に掴むことができない。著者は云ふ「ソヴィエツトの謎に、現實主義の精神を以て近寄れ」と。

著者ヘンリー・C・ウルフは、全世界を驚倒させた獨ソ協定の實現を最も早く豫言して、俄被ジャナリストの名を騙はれた録々たる歐洲外交通し、その輕妙な筆に描き出されたスターリンの素顔を

國際情勢年報・季刊 菊判 二六〇頁  
價貳圓 送十四錢

## アメリカ特輯號

ルーズヴェルトは大統領に三選された。果してアメリカは積極的に参戦するか。全世界の視線は、今やこの大國家の一舉一動に注がれてゐる。わけてもこの國の動向が我が國に甚大な影響を持つことは、既に常識である。本書は最近のアメリカを全面的に解剖す。敢て一讀を薦める。

東京・神田・小町二丁目  
東京・東區・小橋一丁目  
東京・青島年書房

## ソ聯國防體制強化に關する諸方策

ソ聯が國防体制の強化に最近如何に躍起となつてゐるかは、既に述べたところで判明したことも思はれるが、特に國防經濟力の増進、軍備の擴充、軍規の振肅のために、最近矢つぎ早に多くの法令が發せられた。この法令を見れば具體的に如何にソ聯當局が眞劍になつて國防力の増強を考慮してゐるか分るので、少し固苦しいが考ののために以下最近發せられた關係法律を掲載することとする。

### △八時間労働制及び七日週制實施並に自由退職禁止令

(この法令は本年六月廿六日付を以つてソ聯聯邦職業組合中央會議の提案に基いてソ聯聯邦最高會議幹部會令として

發布されたもので、ソ聯憲法にて規定された一日七時間労働制を無視して、これを八時間に延長し、且つ一週間を六日より七日にして休日を減少すると共に理由なく退職又は缺勤する者に對して裁判に附すると云ふ峻嚴なる取締りを規定したものである。

### 八時間労働制及七日週制實施並に自由退職禁止令

聯邦最高會議幹部會ハ六月二十六日附命令ヲ以テ全聯邦職業組合中央會議ノ提案ニ基キ要旨左ノ如ク規定ス。  
第一條 一切ノ國營、協同組合及公共並ニ官廳ニ於ケル労働時間ヲ左ノ如ク延長ス

(イ) 一日七時間労働制企業ハ八時間

(ロ) 危險ヲ伴フ職業ヲ除キ(聯邦人民委員會會議ノ確認セル表ニ據ル——後出)六時間制工場ハ七時間

(ハ) 官廳勤務員ノ執務時間ハ六時間ヨリ八時間

(ニ) 十六歳ニ達セル者ノ労働時間ハ六時間ヨリ八時間

第二條 一切ノ企業及官廳ノ六日一週制ヲ廢シ七日週制ヲ適用シ第七日ヲ以テ休息日トス

第三條 企業及官廳ヨリノ任意退職並ニ企業間及官廳間ノ任意移動ヲ禁止ス退職又ハ移動ハ企業及官廳長官ノミ之ヲ許可スルコトヲ得

第四條 工場長及官廳長官ハ左ノ場合ニ於テ退職ヲ許可スルノ權利ト義務ヲ有ス

(イ) 病氣又ハ廢疾ニヨリ従前ノ労働ニ從事シ得サル場合若クハ養老扶助費被支給者カ退職ヲ欲スル場合

(ロ) 労働者又ハ勤務員カ高等又ハ中等専門學校ニ入學ヲ許可セラレタル場合、妊娠及出産ノ場合ノ休暇

ニ付テハ現行法規(即出産前後五週間、後四週間)ヲ適用ス

第五條 企業又ハ官廳ヲ任意ニ退職スル者ハ裁判ニ附セラレ人民裁判ノ判決ニ依リ二箇月以上四箇月以内ノ禁錮ニ處セラル

相當ノ理由ナクシテ缺勤シタル労働者及勤務員ハ裁判ニ附セラレ人民裁判所ノ判決ニ依リソノ労働場所ニ於テ六箇月以内ノ矯正労働ヲ課セラレ且賃銀ノ二五%以内ノ額ニ付其支給ヲ停止ス

之ニ依リ相當ノ事由ナキ缺勤ニヨル解職ノ規定ヲ廢止ス  
本條ニ明記セラレタル一切ノ事件ハ之ヲ人民裁判所ニ於テ五日以内ニ審理シ判決ハ直チニ執行セラルヘキモノトス

第六條 企業又ハ官廳ヨリノ任意退職者若クハ相當ノ理由ナキ缺勤者ノ告發ヲ回避セル企業長及官廳長官ハ裁判ニヨリ處罰セラル

企業長及官廳長官ニシテ他ノ企業又ハ官廳ヨリ任意ニ退職シ且法ヲ逃レツツアル者ヲ採用セル場合モ亦右ニ同シ

第七條 本令ハ一九四〇年六月二十七日ヨリ施行ス

本幹部會令第一條ニ基キ聯邦人民委員會議ハ左ノ如ク決定セリ

- 一 現行ノ一日賃銀率(又ハ計算率)及月給額ハ之ヲ變更セス
- 二 労働時間延長ニ比例シテ生産規準ヲ引上ケ出來高評價ヲ引下ク
- 三 本決定ノ實施ヲ人民委員、企業長及官廳長官ニ課ス

### △國家統制人民委員部の創設

(ソ)聯邦最高會議幹部會は本年九月六日付で國家統制人民委員部の創設に關する法令を發し、更に、十月十五日に至つて、その官制を發表した。この人民委員部はソ聯

國家機關生産方面に對する峻嚴無比の監察制度を實施したもので、陸海軍國家機關その他企業を通じて、一樣に強力な監察官を設置してゐることは、政府の監督力を強化する上に極めて注目すべきものである。

聯邦最高會議幹部會ハ九月六日附ヲ以テ聯邦國家統制人民委員部ノ創設ニ付左ノ如ク發令セリ(以下全譯文)

- 「ソ」聯邦最高會議幹部會ハ左ノ通規定ス
- 第一條 國家資金及資材ノ計算及支出ニ對シ嚴重ナル監督ヲ確立シ且政府決定ノ履行ノ検査ヲ施行スル目的ヲ以テ「ソヴイエト」統制及中央統制委員會(單數)ヲ改組シ國家統制人民委員部ヲ構成ス
- 第二條 「ソ」聯邦國家統制人民委員部ハ複合人民委員部ニシテ左ノ事項ヲ管掌ス

- (イ) 國家、協同組合、其他ノ公共團體、營造物及企業ノ所管ニ屬スル國家資金及資材ノ計算及支出ニ對スル監督
- (ロ) 政府決定實施ノ検査

第三條 「ソ」聯邦國家統制人民委員部ニ左ノ任務ヲ課ス

- (イ) 第一條ニ規定セラレタル國家資金及資材ノ計算、管理及支出ニ對スル事前及事後ノ日常ノ監督

- (ロ) 「ソ」聯邦國家統制人民委員又ハ當該構成共和國國家統制人民委員ノ指令ニヨル國家監察ノ施行
- (ハ) 政府ノ決定及命令實施ノ検査

第四章 「ソ」聯邦國家統制人民委員部ニ左ノ權利ヲ附與ス

- (イ) 國家統制人民委員部ノ權限ニ屬スル問題ニ關シ一切ノ人民委員部、總管理局、聯邦人民委員會議附屬委員會及此等ノ地方機關並ニ右以外ノ一切ノ國家、協同組合、其他ノ公共企業、營造物團體ニトリ義務的ナル報告、説明通報及其他ノ資料ノ提出ニ關スル指令ヲ發スルコト
- (ロ) 監督及検査ノ手續上ニ於テ發見セラレタル國家資金及資材ノ計算、管理及支出ニ於ケル一切ノ

缺陷又ハ政府決定ノ不履行ノ事實ニ付検査ヲ受

- クル官廳、團體及企業ノ關係首腦者ニ通告シ且其等ノ者ニトリ義務的ナル指令ヲ發スルコト
- (ハ) 政府決定ノ不履行ニ付責任アル者、計算ヲ等閑ニセル者並ニ資材及金錢ノ非經濟的支出ニ付責任アル者ヲ免職以下ノ懲戒罰ニ處スルコト
- (ニ) 濫用及其他ノ犯罪行為發見セラレタル場合ハ法律所定ノ手續ニヨリ犯人ヲ裁判ニ付ス
- (ホ) 監督又ハ検査ノ手續ニ於テ官吏ノ不正行為ニシテ國家ニ損害ヲ及ボシタルモノ發見セラレタル場合ニハ責任アル者ニ對シ所定ノ規則ニ從ヒ金錢賠償ヲ課スルコト

### △赤軍懲罰令

(新赤軍懲罰令は十月十二日發布されたが、本法はソ聯赤軍の軍規を振肅し、階級意識を明瞭にし、勞農赤軍として所謂革命軍の自由主義的制度を撤廢して嚴重なる鐵

の如き規律を實施しつゝある。この懲罰令に於いて赤軍が日本軍隊の軍規に學びつゝある點が觀取される。この法令に關する陸軍中將グルヂューモフの解説を掲げて、その要旨を窺ふこととする。

新懲罰令は最近數次の戦闘經驗に基き赤軍内に行はれつつある軍隊教練及養成の根本的建て直しに對し寄與する所あるべし。

懲罰令は先づ指揮官（隊長）と部下との相互關係を規定す。即ち指揮官の手中に全權力を掌握せしむる事により赤軍に於ける單獨責任制の重要性を強調し黨及政府が赤軍に命じたる要請の精神に於てする部下の養成に對する指揮官の責任を引き上ぐるものなり。そは更に單に懲罰を律するに止まらず赤軍軍人の高き重要性の意識を軍人に涵養せしめ軍人各員に對し自己を處するに嚴格なると共に部下に對し嚴格、峻嚴且正當たるべき事を教ふるものなり。

新懲罰令は指揮官及隊長に對し絕對服従すべき事を教

ゆ。指揮官の命令は部下にとりて法律なり。命令不履行は犯罪にして軍法會議により處罰せらる。軍人の努力は我祖國軍隊の戰鬥力の向上に傾注せらるべく此の故にこそ軍規違反は軍事犯罪たるなり。

軍隊に於ける軍規の状態に付ては先づ第一に指揮官が其の責に任ず。指揮官は不服従又は反抗の如き惡質違反に對しては最も峻嚴なる手段、銃殺の如き迄敢て辭すべきに非ず。而も指揮官は斯る峻嚴なる處罰の結果に付て責任を負はざるのみならず、右ノ場合峻嚴性ト決斷力ヲ示サス命令履行ノ爲凡ユル手段ヲ講セサリシ指揮官ハ軍法會議ニ附セラルべきものなり。

懲罰令第二章は軍人が軍務中犯したる犯行又は社會秩序の違反にして刑事責任に該當すべきものに對して課せらるべき懲罰を規定す。兵士に對する懲罰には個人的譴責、隊列中の譴責、六週間以下の期間部隊配備より解放せざること、非番服役命令（八交替以上）、二十晝夜以下給料支給付營倉輕禁錮、十晝夜以下給料支給附營倉禁

錮赤軍同僚裁判所への廻附なり。

當番及非番勤務の下士官に對する懲罰は更に峻嚴にして例へば職責低下、兵士への貶黜を含む職權剝奪及（非番勤務下士官に對し）豫備役編入なり。

尉官及佐官に對する懲罰は特に嚴格にして右の外官等低下、職責低下、十五晝夜以下の通常休暇の剝奪、指揮權剝奪、豫備役編入及退職等の手段適用せらる。尉官及佐官に對しては自宅監禁（勤務義務の履行を要すると共に俸給五〇%を削減せらる）適用せらる。

第三章は兵士及下士官懲罰上の指揮官及隊長の權限を規定す。兵士に對する下士官の權限強化せらる部隊指揮官に對しては個人譴責、隊列中の譴責、一週間以内の部隊配備よりの解放禁止、非番服役（一交替以下）等を課する權限認めらる。

第四章は尉官、佐官及將官に對する指揮官及隊長の懲戒權を規定す。其の特色は聯隊司令官は「戰時又ハ緊急ヲ要スル時ハ平時ト雖モ中隊指揮官及其以下ノ首腦部員

ノ指揮權ヲ剝奪スル」點なり。

休暇、出張等部隊外に在る場合の懲罰事犯のため第五章は守備隊長及市警備司令官に對し當該守備隊勤務中の軍人及臨時所在する軍人に對する懲罰權を規定す。

第六章は懲罰手續を規定す。「下士官以上ノ隊長に對スル懲罰は部下ノ面前ニ於テ之ヲ行フ事ヲ禁ス」る點に特色あり。部下に對する指揮官の權威及尊嚴を保たしめんとするの趣旨なり。本章は下士官の行ひたる懲罰が其の權限を超えたる場合又は正當ならざりし場合を除く外下士官の行ひたる懲罰を廢止する事を上官に禁止する旨規定す。

新令は右の如く懲罰制度を規定すると共に嘉賞制度並に勤務上模範とすべき又は優秀なる軍人に對する賞與を規定す。

懲罰、嘉賞及賞與を常時記録し置く爲軍人各員に付き特別「カード」を制定するものとす。

不當又は不正の行爲に付ては訴願する事を得。訴願は

自己の爲めにのみ之を提起する事を得。集團的訴願又は他人の爲めに訴願を提起する事は之を許さず。訴願は部隊に關してのみ提起せらる。口頭又は文書を以て之をなすべく、文書を以てする時は提起者の署名ある事を要す。署名なき訴願は之を審理する事を得ず。訴願は隊列中、教練中及作業中提起し得ず。隊長を中傷する爲め根據なき又は故意の虚偽の訴願をなしたる者は軍規上又は刑事上の責任に問はるべし。

### △赤軍將軍提督制の復活

(ソ聯人民委員會議は本年五月七日付決定を以つて、赤軍に將軍、提督制を實施することとなつたが、この制度は帝制露國の軍隊には存在してゐたが、革命後この制度を全廢し、最近に至つて、赤軍統制の必要から、この舊制度を復活したものである。この上級指揮官に對する官級制度と共に、その後十月に至つて下級指揮官(下士)に對しても、新階級を設置し、從來、軍に下級指揮官と

稱してゐたものを、新に伍長、軍曹、曹長等の官等を新設した。これを通じて見れば、ソ聯赤軍は制度に於いて敢へて舊體制を移入しても赤軍の統制強化に躍起となつてゐるものと斷ぜざるを得ない。左に將軍提督制復活に關するソ聯側の説明として、ソ聯紙に掲載された論文を掲げて置く。尙その後元帥勳章が制定されたが、これは世界で最も豪華を極めたもので、プラチナ製の勳章にグイヤモンド等をちりばめたものである。)

ソ聯邦最高會議幹部會の發令に依つて赤軍及海軍の高級指揮官に對する新階級が制定された。赤軍指揮官の全軍共通の新稱號は左の如きものである。

少將、中將、二等中將、大將、元帥

海軍では戰艦高級指揮官の新稱號として

海軍少將、海軍中將、海軍大將、提督、等である。

かゝる赤軍及海軍高級指揮官の新階級制定の意思及び目的は一體何であらうか。

陸軍大將及提督の如き新軍制の實施は指揮官の權威を

更に昂揚させると共に軍事的訓練をより鞏化せんとする目的より出でたるもので、かゝる制定は明白に、陸海軍の統一的指揮權の確立を表明してゐる。獨り社會主義國家に於てのみ軍隊及び人民は全一的完全を保ち得る。赤軍及ソ聯海軍はソヴェート人民の平和な勞働の守備に立つて祖國の防衛に任じ人民の利害を確保してゐる。赤軍及び海軍の兵卒より最高指揮官に至る總ての組織は人民の血肉に依つて貫かれ、従つて赤軍及び海軍はあらゆる共同の關心と信頼と配慮に支持されてゐることは當然であらう。

赤軍の高級指揮官の大部分は内亂時代に生育し一流の軍事學校を卒業してゐる。近年彼等は夫々の濫譽を極め完全にして複雑な戰略に曉通したものである。最近二ヶ年の紛争——ハアサン湖、張鼓峰事件、ハルハ河、ノモンハン事件、波蘭進駐、ソ芬戰——は現代の戰爭に於ける指揮官の戰鬪的資質のよき檢證であつた。これらの戰線に於いて祖國防衛の勇氣

と英雄性と精力及び自信を示した。赤軍の指揮官はその資質と能力と智識の優秀さに於いて幾多の戰果を収めた。この結果、指揮官殊に高級指揮官の權威は赤軍及人民の眼前に於いて高まつた。戰線に於ける赤軍の組織化された技術的再編成は嚇々の戰果を示したが殊に高級指揮官幹部の養成及教育に於いて現兵學の最高水準に立つものであることも示されて

ヒゲはテクノで  
毎朝剃れ！  
スピードと台理化の現代に  
石鹸のゴシクでもあるまい  
▲石鹸・水・ブラシ不要  
▲剃つた後の洗顔不要  
▲剃毛が生んだ日本で唯一の

## テクノ/ヒゲクリム

実用一く  
切れろ

## テクノ/替刃



有名剃刀ブランドにあり

10片  
15片  
15片

東京芝罘白金堂  
東京芝罘白金堂  
東京芝罘白金堂

る。

ゲネラル(將軍)及アドミラル(提督)稱號の制定は必至のものとして既に早くから機は熟してゐた。

今般のかゝる新軍制の制定はソ聯軍備の組織的鞏化を目的とした確定的な軍制である。

ゲネラル及アドミラル稱號は向後、高級指揮官の權威と軍事訓練の強化に大きな役割を演ずるであらう。

ソ聯政府は人民及び國家の利害に關しては獨立自主の對外政策を導いてゐるものであるが、至ては赤軍及海軍の發展的勢力の上に立脚してゐる。ソ聯は倦むことなく赤軍及海軍の鞏化に努め以て外敵の陰謀より祖國を防衛せんとするものである。

今や第二次世界大戰の戦火はソ聯國境にまで延び、あらゆる第三國をも包圍せんとしてゐる。地球は戦火に包まれんとしてゐるのだ。この時ソ聯のみは花崗岩山の如く巍然として登え平和の防壁を築いてゐる。一貫したソ聯の平和外交政策は萬國労働者の認めるところであり尊

敬を惜しまざるところである。かくの如き傳統的に永く明白な政策が西ヨーロッパ戦争の飛火を阻止した。

然し平和を守護しソ聯の安全を保護せんとする赤軍の任務は常に萬一に備へ動員の態勢にあらねばならぬ。

例へば芬蘭の冒險は粉碎されたとは言へソ聯の國境を侵犯せんとする新たな冒險や試みが次になされないと保證出来ない。

結論として不斷に赤軍及海軍又は豫備兵力としての國防飛行化學協會(オソアヴィアヒム)の鞏化及國防工業の發達こそ不可欠な防衛の手段である。

赤軍が強くなればなる程工場やコルホーズに於けるソ聯人民はそれ丈安寧に働き得る譯である。誠に赤軍はその人材に於いて強く、人民と祖國に對して絶対に忠實であり、強力な技術に於いて優秀である。赤軍はその指揮と政治的構成、兵士教導の組織に於いて力強く、近代戦術に於いて優秀である。かくて高級指揮官の新稱號制定に關するソ最高會議幹部會の發令は今後の赤軍勢力の強化

に大なる役割を演ずるであらう。

### △赤軍一元統帥の強化

(從來赤軍には政治部が存在し、軍令と政治部令との二元統帥等が行はれてゐた。師團長、旅團長等の最高指揮官も、政治部員の同意がなければ命令を發することができず、これが實戦の上に幾多の不便、缺陷を齎らした。

そこで本年八月十二日に赤軍の政治部制(コミッサール制)が廢止されて、從來、指揮官を監督する地位にあり、指揮官の權限に干渉して來たコミッサールがなくなり、軍の全權は指揮官の手に統一されるに至り、從來のコミッサールは政治副官の地位に落され、指揮官の權威が著しく高められた)

「ソ聯邦最高會議幹部會は、政治委員制度が既にその基本的任務を終了し、また近年陸海兩軍士官が頼みに強化した事實に鑑み軍隊指揮權の一元化の原則實現及び司令官の權威を強化し、一切の權限と責任とを以て軍隊の政治

的任務を遂行せしむるため、今回

一、一九三七年八月十五日ソ聯邦人民委員會議並びに共產黨中央委員會の承認を得たソ聯邦赤軍政治委員制に關する法令を廢止し

一、その代り副司令官制を創設して之を軍團、師團、旅團等の部隊、艦隊、特別師團、軍官學校、赤軍並びに海軍諸施設に配屬して政治事項を處理せしめ

一、また軍管區軍事會議をして所屬師團及び旅團の政治工作を統制せしむる」

### △熟練工、技術者の義務的移動に關する法令

(技師、技手、職工長、勤務員、熟練工の一企業、一機關より他企業、他機關への義務的(我々の言葉で言へば強制的)移動に關する十月九日附ソ聯最高會議幹部會令は六月二十六日のソ聯労働組合中央評議會指令と十月三日のソ聯最高會議幹部會令を補足するものである。前者

は理由なき轉退職を禁じ、勞働者を一應現在の企業に安定させた。後者は青年を都市及びコルホーズから動員し、入學させ、技術を習得させ、將來における熟練工の供給を準備してゐる。しかし現在の不均等な勞働力の配分を改めるには、これだけでは不充分である。概括的に言へば、今次の法令發布は次の如き理由によつて説明される。

(一) 原則的にはソ聯は同一等級の勞働者の勞働條件には懸隔がないように努力し、又凡ゆる種類の勞働が神聖であると宣傳してゐるが、勞働者は兎角體力を多く要する重工業、特に製鐵業、石炭工業、石油工業、その他の鑛業部門で働くことを忌避する。特にその企業が遠隔不便の地にあるとき、この忌避は一層深まるのである。しかるに、一方ソ聯は外ならぬ此等の産業部門の發展を第一に必要としてゐるのである。

(二) 今迄、人民委員部は勤務員及び勞働者のある機關、企業へ強制的に轉せしめる権利をもつてゐなかつ

た。従つて前記の理由と關聯して、ある企業は勞働力に潤澤すぎるほど惠れてゐるにも不拘、他の企業はその不足に悩んでゐる有様であつた。しかも前述の如くこの勞働力の不足に悩んでゐる産業部門、企業の發展をソ聯が必要としてゐるのである。最近國際狀勢の尖鋭化と關聯して、ソ聯はこれ以上こうした状態を等閑に附し得なくなつた、即ち、強制的に勞働者、勤務員を必要とする部門、企業に向け勞働力の跛行的配分を改め、もつて國防經濟の生産力増大を促進しなければならなくなつた。

これが今次の法令が發布された主要原因である。この外ソ聯は、ソ聯には失業者がないから勞働力の吸集は特に困難であり、勞働力の合理的配分は就業勞働者の計畫的強制的配分によらなければならぬとか、又六月二十六日令の實施後（八時間勞働制、七日週間制への復歸後）多くの工業中心地において少なからぬ熟練工、勤務員が他の必要とされる所に向けられ得るよう

になつたにも不拘彼等の一部は其處に行きたがらないとか言つてゐるが、主要原因は以上の二つに盡きてゐる。新工場、鑛山、建設、運輸並に新種類生産物生産に移行せる企業を熟練要員を以て確保するの課題は個々の企業間に於ける技師、技手、職長、勤務員、熟練勞働者の正當なる配置並に熟練要員を配備する一企業より要員に不足する他企業への産業勤務員の異動を必要とす、人民委員部が義務的手續に於て一企業より他企業へ技師、勤務員、及熟練勞働者を轉出せしむるの権限を有せざる現行規則は國民經濟發展にとり障害となり居れり。

ソ聯邦最高會議幹部會は左の通り決定す。  
一、ソ聯邦人民委員に對し技師、設計者、技手、職長、製圖家、會計家、經濟家、算定・財務及計畫勤務員並に第六級及其以上の熟練勞働者をして義務的手續に於て企業又は官廳の地方的所在地の如何に依存す、一企業或は官廳より他企業及官廳へ轉出せしむべき権限

を附與す。

二、本令手續に於ける技師、勤務員及熟練勞働者の他地方への轉動は轉出勤務員に何等の物質的損失を來せしむべきに非ずして、右に基き人民委員部は轉出勤務員に對し左の費用を支給すべきものとす。

- (イ) 勤務員並にその家族員の新勤務地迄の旅費
  - (ロ) 所持品輸送費
  - (ハ) 轉動途中の宿泊料
  - (ニ) 轉動途中の賃金及更に六月間の追加賃金
  - (ホ) 轉出勤務員に對し舊作業場所による賃金三個月乃至四個月分（地域の如何により）の範圍内の新勞働場所に於ける一時的著後手當及轉出勤務員の勞働場所に赴く其家族員に對し轉出勤務員の月給四分の一の一時手當
- 三、同一地方に於て一企業より他企業へ異動する技師、勤務員及熟練勞働者に對しては企業に於ける勞働經歷期間に變更を加ふることなし、他地方へ轉出する者に



對しては勞働經歷期間に一箇年を更に追加せらる。

四、企業長及官廳長官は本令に基き他の地方へ轉出する技師、勤務員及熟練勞働者の妻に對し企業又は官廳より退職する許可を與ふべきものとす。

五、人民委員の他の企業又は官廳への強制異動令を實行せざる者は企業又は官廳よりの無断退職と看做し一九四〇年六月二十六日附勞働者及勤務員の企業及官廳無断退職禁止に關する最高會議幹部命令第五條により裁判に附せらる。

六、一九四〇年十月二十日より人民委員部及企業と技師、勤務員並に本令一條に列擧せられたる熟練勞働者との一期限間を限り締結せられたる勞働契約は廢棄せられ前記技師、勤務員及熟練勞働者を其契約により働く企業に止まらしむることをソ聯邦人民委員に許可す。

### △勞働豫備軍本年度召集令

(人民委員會議附屬勞働豫備軍總管理局は十月二日附最高會議幹部命令及同日附人民委員會議決定に基き十月五日附を以て三學校召集準備命令を發表した)

一、徒弟學校及鐵道學校には小學校卒業又は中等學校四年級以上の學力を有する者を採用し工場實習學校採用者は義務教育の有無を問はず。

一、從來存在せる工場學校(註)の男女生徒は三學校へ優先入學の權利を有し規定の年齢を超過せる者と雖も採用せらる。

一、鐵道從業員の子弟は鐵道學校へ優先入學の特典を有す

一、三學校の授業開始は九月一日とするも一九四〇年度に限り十二月一日とす

一、徒弟及鐵道學校の授業時間は一、七時間とし其中五時間は生産實習に、二時間は普通學科及生産と關係ある特殊科目の授業に宛てらる

工場實習學校の授業時間は一日八時間とす

一、三學校卒業者に對しては勞働豫備軍總管理局の定め

たる形式の資格證明書を授與す

一、徒弟及鐵道學校には學校長、授業・生産部長、普通學科・特殊科目教師、上級職長一名及生徒二五名に付一名の割合にて職長一名を置く

徒弟及鐵道學校寄宿舎には學校長に直屬する舎監一名及軍事體育訓練教官一名を配屬す

一、工場實習學校には學校長、古參職長一名、生徒三〇

一、四〇名毎に職長一名を置く

一、三學校は獨立豫算を有す

一、三學校は國家の初等的生産注文を引受くることを得右注文遂行並に生徒が生産實習により得たる收入の三分の一は國家豫算へ繰入れられ三分の一は學校擴張及生徒教師の文化・日常生活改善費として學校長之を管理し殘餘の三分の一は作業を遂行せる生徒の所得に歸す

一、一九四〇年度州、地方及共和國別三學校召集生徒割當計畫案を確認す

一、莫斯科、「レニクラード」、「スタリンスク」、「ヴォロシロフグラード」、「スヴェルドロフスク」諸州及沿海、「ハバロフスク」二地方並に「カレロ・フィン」共和國は其州、地方、共和國の召集以外更に他州よりも補充せらる莫斯科「レニクラード」州、沿海、「ハバロフスク」地方の割當數及他州より補充せらるゝもの數(其他省略)左の如し

他州よりの補充者數	總召集者數
莫斯科州	二五、〇〇〇
レニクラード州	三六、〇〇〇
沿海地方	二、〇〇〇
ハバロフスク地方	一、〇〇〇
	七四、六六〇
	七六、九〇〇
	五、一〇〇
	五、〇〇〇

一、三學校へ任意志願し採用せられたる者は動員せられたるものと看做され動員の手續に於て採用せられたる者の權利義務が適用される」

### △勞働豫備軍總管理局決定

(十一月二日附)人民委員會議附屬勞働豫備軍總管理局參與會は徒弟學校、鐵道學校及工場實習學校の國家勞

勸業備軍養成問題及同準備に對する問題を審議決定したが、内容は左の如くである)

- 一、(イ)三學校校數及召集生徒數(豫定)
  - 徒弟學校 六〇〇餘校 三一五千人
  - 鐵道學校 一〇〇 三四千人
  - 工場實習學校 八〇〇 二五〇千人
- (ロ) 徒弟學校は主要産業部門の熟練要員養成を目的とし職業別養成工數は左の如し
  - 冶金工業 三〇千 化學工業 一六千
  - 石炭及鑛山工業 一〇千 石油工業 七千
  - 金屬加工及機械製作工業 二二〇千
- (ハ) 工場實習學校は熟練を要せざる職業労働者を養成するものにして主として炭坑夫、掘鑿夫、大工、石工、コンクリート工、練瓦工、鍛冶工、旋盤操縦工等なり
- 一、全聯邦二四州の三學校任意志願者數は現在三二七千名に達す
- 一、八萬八千名他州召集者に對する輸送準備せらる
- 一、三學校用教科書 三學校教科書の編纂及教案作成に技師、技手、「スタハーフ」運動者参加す。

昭和十五年十二月十日印刷  
昭和十五年十二月十五日發行

世界戦とソ聯國防體制の強化

編輯兼發行人 笠原直造  
印刷所 安久社  
東京市芝區西久保巴町七十番地

東京市麹町區丸の内三丁目三番地、丸の内ビルヂング三階  
發行所 株式會社 日蘇通信社  
電話(一九七五・二〇三三)  
丸の内(三八一二)

- ◆大阪支社 振替東京六一五〇八
- ◆新東京支社 大阪北區西扇町一七
- ◆哈爾濱支社 滿洲國新京特別市安達街七一六號
- ◆朝鮮支社 滿洲國哈爾濱實業街八一
- ◆北京支社 朝鮮京城西小門町一八
- ◆函館支社 北京安定門內分司廳胡同二六號
- ◆黑河支社 滿洲國黑河市興街一三八
- ◆上海支社 函館市末廣町八三兩館新聞社内

東京外語教授 八杉貞利先生編輯

最新ロシヤ語講座

ロシヤ語を學びたいが何かよい参考書はないだらうか、と云ふ質問には必ず『最新ロシヤ語講座』を讀めと答へられるのが、露語學界での一つの常識となつてゐる。その内容は文字及發音講座、文法講座、會話講座、露譯講座、讀解講座、練習問題等に整然と大別され、ロシヤ語の何たるかを知らない讀者を對象に漸次中級、上級へと進み全六巻を以つて完結す。どの巻をみても内容は正確さをもつて充され、教授材料は新味横溢、生きたロシヤ語が、懇切を極めた講義によつて遺憾なく讀者の腦裡に喰入るやうにできてゐる。この全六巻を讀破する時どんなに實力がつくか、小店には毎日感謝の手紙が舞ひ込んで來る有様だ!!(菊判全六巻・定價各冊一圓七十錢・送料十二錢)

- トドロウイ先生共著 最新ロシヤ語會話 一・四〇
- 佐藤勇先生共著 最新ロシヤ語會話 一・六〇
- トドロウイ先生共著 最新露日會話 一・六〇
- 佐藤勇先生共著 最新露日會話 一・六〇
- A.パノフ先生共著 日露カナツキ雙用會話 一・八〇
- 山村順太郎先生共著 日露カナツキ雙用會話 一・八〇
- 東幸太郎先生共著 實用ロシヤ語會話 二・〇〇
- 水谷健一先生共著 實用ロシヤ語會話 二・〇〇
- 佐々木靜吾先生共著 實用露和會話 二・一〇

毎月一回一日發行

ロシヤ語

(定價四十五錢・送料四錢)

ロシヤ語の一字一音も知らざる人々を對象にして初歩から中級へと手ほどきをなす本邦唯一の露語學習雜誌  
教科書にもない、参考書にもない、興味津々たる記事  
満載! 生きたロシヤ語は本誌によつて學べ!

東京市神田區神保町一丁目一四番  
振替口座東京六六九番  
橘書店發行

ウシヤコフ監修・ソヴエート版

露語大辭典

(1) 語數約十二萬、ブリンキン時代より現代に至る活きたロシヤ語はすべて網羅し、各語は全くソ聯のイデオロギイ的角度から解釋されてゐる。この新解釋を知らずして現代ソ聯文獻の正當なる理解は期し得られない。(2) 正字法が新しく、力點には特別の考慮が拂はれ、尙各語は豊富な用例で解説されその出典が示されてゐる。(3) 略語、新語、外來語、俗語等が洩れなく収集され、一々語源が掲げられてゐる。(4) 専門用語は各専門家によつて収集され、正鵠な専門的解釋が附されてゐる。全四巻中第三巻まで發賣。四六判・洋布装製・特價各冊六圓・小包送料各二二錢・滿鮮四二錢。

- 米川正夫先生譯註 降誕祭と結婚式(對譯書) 一・〇〇
- 水谷健行先生編 新ロシヤ語讀本 一・〇〇
- 小串任先生編 活用ロシヤ語讀本(上巻) 一・八〇
- 小串任先生編 活用ロシヤ語讀本(下巻) 一・〇〇
- 「ロシヤ語」編輯部編 ソヴエト初等語學讀本 一・〇〇

406  
309

能食 能便 能眠 能働

ミクローゼ

星製藥株式會社

東京外語名譽教授 八杉貞利著 二版 定價一・二〇 送料・〇九 四六列上製・一六三頁

# 基礎ロシア語

本書は紙上ラヂオ講座の一篇、平明にして懇切且面白い講述からなつてゐる。平易なロシア語入門書として、初學者が困難する發音から、著者は讀者の手を引き、足並をそろへて懇切に而も大綱を失ふことなく、最後まで飽きることなく讀破させる。讀者は文法を要處要處に指摘され、巻を閉じるときは、充分な實力を我がものにするこゝが出来来る。

早大助教授 岡澤秀虎著 改訂十五版 定價二・〇〇 送料・一・二 四六列 香布装・三一〇頁

# 露西亞語四週間

日獨伊三國同盟成立の現勢に於いて、ソヴェートの沈黙は明日知れぬ謎である。その政治、經濟、軍事、文化の研究は、世界新秩序建設上の當面の問題である。本書はこの時代の使命を充分に果す權威を誇つてゐる。著者はロシア語學習者のよき指導者であり、充實せる内容と廉價とは、斯界の白眉である。ロシア語、ロシア研究者必携の書である。

井上敬一著 ¥・七〇 下・〇六

## 日露會話練習帳

日露會話の速成を期し日本人向に邦語ロ  
ーマ字露語發音符號を見開きに組み、實  
用、平易に日常生活の全般に亘る。

大學書林編 ¥・五〇 下・〇六

## 露西亞語基礎一五〇〇

井上敬一編 ¥・七〇 下・〇九

## 露西亞語常用單語六千

佐藤・山本共著 ¥・二〇〇 下・一二

## 活用露西亞文法

佐藤 勇編 ¥・一・二〇 下・〇六

## 最新ロシア語讀本

大學書林編 ¥・五〇 下・〇三

## スぺードの女王

井上敬一著 近刊

## 日露會話練習帳

露西亞語科學論文對譯 近刊

## 露西亞短篇小說對譯

東京市牛込區東五軒三十四番地 大學生會社 內容見本呈



はで丈い甘唯はルメラヤキの永森  
肪脂、へ與を熱に血の間人、くな  
。すで料燃るへ與を力く働てし燃を

# ルメラヤキ<sup>ニ</sup>永森

京東 杜魯式株業製永森